



救急事故対応訓練に協会員が参加しました！



日本語がわからない被災者役です



翻訳機を使って

11月29日(月)杵ヶ池体育館において「尾三消防本部集団救急事故対応訓練」が開催され、救急隊員、けが人役の93名が参加、協会員からは里さんと劉さんら4名が参加しました。手製爆弾の爆発によって負傷者が発生したという設定で午前9時に訓練開始。2人は日本語がよくわからない外国人役を担当しました。

参加してみて、「経験して良かった」「一生懸命対応してくれる消防隊員をみて、ほんとうに涙がでてきた」「実際に事件や災害に遭遇したとき、まずは言葉がわからないと伝えることが大事だとわかった(話せないのか、言っていることがわからないから話せないのか、聞こえないのか、外見だけではわからない)」「スマホの翻訳機能など、言いたいことを伝えるために利用できるものはある」など、気づくことの多い時間になりました。



症状によって分けられます



訓練を終えて。
いい経験になりました。



◇お問い合わせ先◇

長久手市国際交流協会
480-1196
愛知県長久手市岩作城の内60-1
(長久手市役所2階)

TEL
0561-62-5933
E-mail
nia@nagakute.aichi.jp



題字デザイン:塚原真理子
編集制作:チームなな